

<http://www.ultraman.gr.jp/~morinoko/index.html>

野外保育

森の子

since 2002
MORI NO KO

No. 3

2004.8.9.10月号

ふと気付くと、あの暑さはどこえやら。そして今、森の子は秋の恵みでいっぱいです。秋の実りは子供たちの心も身体も豊にしてくれます。これから見られる美しい紅葉も、子供たちの御馳走になることでしょう。



かがやく瞳、ちいさな足で「はじめのい~っぽ。」

電車で中綱湖遠足 9月30日

台風の影響で2日延びてしまい、待ちに待った遠足となりました。今日は細野駅に集合です。いつも以上に元気一杯!?の子供たちが、電車はまだかな?と待っています。電車の中では、みんな嬉しそうで、行きに1時間ちょっと掛かりましたが、それも楽しんでいたようです。窓から湖が見えると、大人でも『オオ~ッ』と見入ってしまう景色で、子供ともっとこういう機会が欲しいなと思いました。(今は子連れで電車に乗るのは勇気がいるので...)

中綱湖に着き、先生からおやつをもらい、みんな大喜びです。歩き出してすぐに、『歩けない~!』と言っていたYもこのおやつパワーで乗り切ることが出来ました。(助かりました~)湖の周

りは約2キロあります。雨の後だったので、どんな状態かとちょっと心配でしたが、子供たちはいつも通り、なんなく歩いておりました。大人が橋渡しをしなければ通るのが難しい所が2ヶ所ほどありましたが、それも子供にとっては楽しかったかもしれません。湖は澄んでいて、大きな魚(鯉?)が泳いでいるのが見えます。(釣り人がいたけれど、森の子一行が通って逃げなかったかな - ?

)子供の背丈以上の草むらの中を通る時は、喜んで行く子ばかり。私は一瞬怯みましたが、みなさんはどうだったでしょうか?(子供の頃は探検気分ですういふ所にわざわざ入っていきましたが...) 険しい(?)道のりでしたが、みんなは無事お昼の場所に到着。湖をゆっくり眺めて昼食...ではなく、ご飯が先!という状態でしたが、お弁当にリンゴと栗も頂き、みんなは元気になりました。

湖を出る前に先生が、『何ていう湖にきましたか?』という問いにT君から、『中ひも湖』と返ってきて大笑い。疲れも吹き飛びました。そして帰りの電車はというと、駅までのんびり歩き過ぎたので、ホームに着いてすぐに電車が入ってきて、もうちょっとで乗り遅れるところでした。(最後まで気が抜けない~)みんな疲れてぐったりするのかと朝は想像していたのですが、子供たちのパワーはすごいです。ほぼ朝と変わらずに車中を楽しんでおりました。本当に普段の生活と同じ様に過ごせる子供たちに脱帽の一日でした。

自己紹介

さて式は前年度卒園したKIちゃんの近況報告のお手紙と写真を紹介したあと依田先生に絵本「きいろいはちょうちょ」を読んでいただいたり手遊びをしていただいたりして緊張をほぐし新しいお友達、進級するお友達の紹介へと移りました。新入園児ははにかみながら一人ずつ名前を言って用意された小さな花束を母親からもらいました。続いて在園児も自己紹介しながら花束をもらいました。

紹介が終わると在園児が「世界中の子供たち」を歌って新入園児を歓迎してくれました。



保護者を交えて自己紹介

みんなで輪になって手をつなぎ「ひらいたひらいた」をした後、保護者代表のETさんが自然の中で保育す

ることの大切さ、意義をレイチェル・カーソンのセンス・オブ・ワンダーから引用してお話ししてくれました。（野外保育は大変だけれど楽しくて充実したものになるようです。自分の子供だけでなく他の子どもともかわいく思えるようになる・・・というのもステキなことですね。）

そして今日の感想や豊富などを交えながら家族ごとの紹介へと移りました。在園児の家族の方の話はこれからの森の子での生活に役立つことがいっぱいでした。そして新鮮で心に響くものがありました。



先生のお話

森の中は楽しいことがたくさんありますが、中でも子供たちにとって一番楽しいことは森の中で食べるものを探すことです。春のヨモギ、夏のキイチゴ、秋のキノコ・・・森は私たちにいろんな恵みを与えてくれます。私たちが森の中に入ることは森にとって良い面もあります。

昨日、森の中を歩いているとジュースの空き缶やお弁当を食べた後のゴミがたくさん見つかりました。これは心ない大人が作ったゴミだと思います。

子供たちは森の中でいろんなことを発見したり経験したりするうちに森や自然に愛情をもつようになっていきます。森に愛情をもった子供たちが森に入ることは森にとってもとてもよいことだと思います。そしてそれは森が荒れることなく生き続けるためにも大切なことだと思うのです。また子供たちは森で楽しく遊ぶなかで森をとっても大切に思うようになっていきます。大人になっても自然を愛する気持ちを忘れないと思うしそういう純粋な気持ちを持ち続けられるように見守っていきたいと思います。

私たちが森にゴミを捨てることはそんな子供たちの純粋な気持ちを傷つけることになるのではないのでしょうか。私たちが子供たちと共に森に愛情を持って森の恵みを分かちあっていきたいと思います。



森へ散歩

依田先生に絵本「草花とともだち」を読んでいただいた後、先生と

- ・ 森の中で大きな声を出さない（動物を驚かせないため）
- ・ ゴミを捨てない
- ・ 分かれ道では待つ

の3つの約束をしました。そして拾ったゴミを入れる袋と宝物を入れる袋をもって森へ散歩に出かけました。在園児たちにとって森は庭のようなもの。元気よくどンドン歩いていきます。新入園児もたどたどしいながら一生懸命森を歩きます。春の森は清々しくこれからこの森に守られながらいろんな発見をして成長していくのだろうな……。なんて思いながらしみじみと歩きました。途中のもみの木のところに子供たちの名前付きのクッキーがぶら下げてあってかわいらしい趣向で子供たちにおやつプレゼントがありました。ちょうどお腹がすく頃の新入園児の事を気遣ってくれる心遣いに心があたたかくなりました。もちろん子供たちは大喜び！森を抜けて畑に出るといろんな草を見つけたり採ったりしながら歩きました。

森の子に戻ると先生が動物の名前の付いた草「オオイヌノフグリ」「イヌナズナ」などを見せながら説明してくれました。最後に全員で「ともだちなるために」を歌ってはじめての一步の式を終わりました。

終わりに

森の子の子供たちは森に守られ先生や保護者のお母さんやお父さんを始めとした、たくさんの大人たちに見守られて本当に幸せだと感じました。これからたくさんの体験が待っています。新入園児にとっては親も子も初体験だらけでハラハラしたりドキドキしたり時にはオロオロしたり……。いろいろな事が待ち受けていると思います。子供たちが幸せな森の子生活を送れるように（微弱ながら）サポートできたらいいな、そして子供たちと一緒に森の子を楽しめたらいいなと思いました。

最後に運営員の皆様、ステキなフルートの演奏で花を添えてくださったTさんをはじめ「はじめの一步の式」を作ってくれたすべての人に感謝いたします。



子供たちの世界は、いつも生き生きとして新鮮で美しく、驚きと感激にみちあふれています。残念なことに、わたしたちの多くは大人になるまえに澄み切った洞察力や、美しいもの、

畏敬すべきものへの直感力をにぶらせ、あるときはまったく失ってしまいます。
もしもわたしが、すべての子供の成長を見守る善良な妖精に話しかける力をもっているとしたら、世界中の子供に、生涯消えることのない「センス・オブ・ワンダー＝神秘や不思議さに目を見はる感性」を授けてほしいとたのむでしょう。
この感性は、やがて大人になるとやってくる倦怠と幻滅、わたしたちが自然という力の源泉から遠ざかること、つまらない人工的なものに夢中になることなどに対する、かわらぬ解毒剤になるのです。 レイチェル・カーソン 「センス・オブ・ワンダー」より

記事・新入園児Nちゃんのお母さん



2004年4月10日 森の子はじめの一步の式

ともだちになるために

作詞/新沢としひこ 作曲/中川ひろたか

ともだちになるために 人は会おうんだよ
どこのどんな人とも きっと分かり合えるさ
ともだちになるために 人はで会おうんだよ
同じようなやさしさ 求め会っているのさ
いままで出会ったたくさんの
君と君と君と 君と君と 君と君と
これから会おうたくさんの
君と君と君と君とともだち

森の子ホームページに遊びに来てくださいね

<http://www.ultraman.gr.jp/morinoko/index.html>

since 2008

MORI NO KO まちどおいしいね。森の子お誕生会。

森の子では、こどもの誕生日に「お誕生会」をします。こどもたち一人一人を皆で囲み、お祝いするのです。先生が摘んできてくださった季節の花の冠をかぶり、いつもとは違う雰囲気にならざるにちよっぴり照れくさそうなこども。切り株で作ったケーキに灯るろうそくの炎を吹き消したら、先生がその子のお誕生から今までの様子を語ってくださいます。なんと、事前にお母さんにリサーチした事柄を、すべて暗記してくださっているんですよ。これには思わず涙してしてしまうお母さんも・・・。しっかりお話を聞いたあとは、お母さんお手製のケーキを皆でいただきます。この春は5人のお友達がお誕生日をむかえました。それぞれのお母さんたちにメッセージを書いていただきました。

5才になったまことへ。

お誕生日おめでとう。

いつも忙しくしているお母さんからおおいそぎで生まれてくれたまこと。お父さんにも連絡できずにうまれたあとから見に来てくれました。

あれから5年・・・

まなみや仁の幼稚園や学校、お母さんのお仕事につき合っあちこちつれまわされて、いつもくっついていただけ、3才になる前に森の子に入って今ではお友達ともいっぱいあそべる様になり、木のぼったりどンドン歩いていたりとてもたく

M、5才の誕生日。依田さんが私が去年書いたアンケートをもとに、mが生まれたときの事から今までを物語のようにして語って下さいました。(よどみなく長いおはなしをしてくれました。きっと暗記するのに時間をかけて下さったと思います。)子供との思い出は、胸の中にある光る玉のようなあ、と思う事があります。

生まれたときの事、初めて沐浴した時の事、初めて歩いたときの事、すべてがきらきら光るガラスの玉のようにひとつひとつ胸の中にしまっています。その思い出の玉を依田さんが久しぶりに取り出してくれたような気がしました。そして私はまたそれをぴかぴかに磨いて、胸に

ましくなりました。泣いて先生におんぶされていたのにすっかり大きくなったんですね。

いつもゆっくりまことと付き合ってあげられないけれど、お友達やお兄ちゃんお姉ちゃんと仲良く元気で遊んで下さい。そんなまことの笑顔を見ているのが、お母さんは大好きです。

これからもよろしくね。 お母さんより



おかあさんがこどものお誕生日のために作ったごちそうたちです。どれも好評でした。カラーでお伝えできないのが残念！

森の子に入園して初めてのお誕生会でした。先生がアンケートをもとにN子の生まれる時のことや生まれてから4歳になるまでのことを物語にしてお話ししてくれました。とても感動しました。日頃の慌ただしさにかまけて子供と向き合うことが減ってきてたかな？と少し反省。こういう機会でもなければお誕生日といっても

Dちゃん、Mちゃん、6歳おめでとう。あなたたちを産んでもう6年なんだなあということをお誕生会で実感しました。忙しくてててこまいで、何から話したらいいかわからないあなたたちの赤ちゃんのときだけ、先生がちゃんとみんなの前でお話してくださったよ。先生はね、私が書いた6年前のあなたたちが産まれた頃のお話を、全部覚えててくださったんだよ。先生お手製の花冠をつけてもらって、みんなにお祝

何となく照れてしまって面と向かって子供に自分の気持ちをきちんと話すことはなかったと思います。そして子供を授かったときの幸せな気持ちを改めて感じる事が出来ました。ありがとうございます。先生や森の子のお友達に祝ってもらってとても楽しい幸せなお誕生会になりました。

N 子母



since 2008

MORI NO KO 第3回長峰山登山・・・春の巻

午前9時、長峰荘集合。天気快晴。風微風。北アの眺望、抜群。最高の登山日和。ここからは見上げるような常念岳も頂上に登ると同じ高さに見えるように見え、安曇野の水を張られた水田が美しい鏡のように見えるはず。さあ、いつもの森の子と違う森、何が待っているんだろう？子供達は飛び出すように新しいフィールドに飛び込んでいきます。『えーもうこんなに高くなったねえ』と、誰か。そう登って自分がさっきいた場所がどんどん下になってくんだよ。いつもの平らな道と違う高度感、楽しいよね。でも森の子と同じ物もあった。そう、おとしぶみ。しかし去年もそうだったけど、ここのおとしぶみの数はハンパじゃない。そのおとしぶみトラップに何度もはまってなかなか前へ進めない子もいたね。それから明日の料理実習で使う柏の葉を取るのも大事な目的。やっぱりいっぱい食べたい子はいっぱい取ってたような。ところでさっき下で別れたとき、新入児のお母さん達心配そうに見送ってた。一緒に登った私たちも心配していたけれど『先生、休憩しないねえ』と親の方が言い出すほど、今回はノンストップで、みんな楽しげに登って行きました。結局頂上まで約2時間、休憩1回だけ。みんな体力付いてきたよね。年長さんはおやつを教えてください、遅れている子の所まで引き返して連れてってくださったり、もう余裕しゃくしゃく。安心していられます。自動車道を横切ってあと少し。開けた芝生の斜面を登っていくと、先回りしたお母さん達が待っていてくれました。お母さんを見つけると『ママー』という声がたくさん聞かれました。その声とお母さん達の『よく頑張ったね！』の声。登り切った子供達のうれしそうなお顔。なんとなくジーンとしました。頂上でお弁当を食べて、さらに元気になった子供達。だれもへたりこんだりしないで、駆け回っています。いったんさよならの会をして新入児は解散。ゆっくり休んでね。大きい子供達はそのまま歩いて下山です。その早いこと、早いこと。あっという間に長峰荘着。『もう一回登れそう』と子供達。『かんべんしてえ』と大人達。まったくたくましいです。森の子では見られない花や草もあり楽しい登山でした。森の子植物図鑑を作ったら楽しいなあ、と思い

ました。写真は撮ったので、今年度の卒園アルバムで企画、実現できたら・・・と思っています。みなさんご苦労様でした。次は秋の登山、楽しみにしています！

記事・Mちゃんのお母さん



since 2002
MORI NO KO 田植えで泥んこになったよ。



6月2日(水) 晴れ

今日は、田植えの日です。田んぼに向かう前に朝の会で田植えの場面が出てくる本を先生が読んでくれました。気持ちを高めてさあ田んぼに出発！途中で木苺が一杯あってみんなでむしゃむしゃ。まだすっぱいのもぜんぜんきにせず食べてる子もいます。

途中にあった笹の葉で船を作りました。しばらく船をみんなで作っていたら、今度はそれぞれのオリジナルを作り始めました。リボン、おせち、おはし、飛行機、手紙入れ、とってもすてきなのができあがりました。お昼過ぎに田んぼに着いて、すぐにお弁当を食べました。そこからの景色が最高。この間みんなで登った長嶺山も見えました。あんなに高い山登れたんだね。

お弁当を食べ終わった子から田んぼの中へ。泥のプールで楽しそうに泳いでいたり、泥団子を作って遊んでいたりと泥の感触を味わいました。もち米の苗は4本ぐらい束にして植えます。

初めて田植えをする子は、とっても真剣に植えています。新しい子に教えてくれている子もいました。

これから森の子で植えた苗がどのように成長するかとっても楽しみです。

森の子のみんなと共に大きくなーれ。

記事・Nちゃんのお母さん



since 2008
MORI NO KO 私と子供の俳句づくり 白井朋子

俳句として、四歳の子供の言葉を拾うようになって一年。振り返ってみると、それはまったく私の感動と共にあり、その言葉一つ一つの場面が鮮やかに思い浮かんでくる。

春。晴れわたった空に一本のひこうき雲。

くものひこうきおそらにせんをつくってる 誠 三歳

車の座席から一緒に空を見た。思わず「ひこうき雲って言うんだよ」と言いかけたが、子供の表現の妙に気づかされた。

ほらみてはっぱの上にあめの玉 誠 四歳

雨上がり、まん丸の露がまっすぐな細い葉の上に光り輝いてる。私にあわてて見せに来た子供の言葉。

雨やんだ山がもえちゃうたいへんだ

霧が激しく動いていた。私やっぱり自然の驚異を感じていたが、子供は根っからの詩人だ。

夏。まぶしい太陽がキラキラする時。

朝おきたらおひさまがコンコローンってころがってきたよ

実は、子供の言葉がなかなか出てこない時は、車に乗せる事になっている。信州安曇野の豊かな自然の中に住み、子供は毎日、野外保育に通い、私も一緒に散歩に出かけたりするので、俳句にするのは簡単そうに思われるのだが・・・、自然の中に出てしまうと、子供はまったく自然と同化して遊んでい

るのでなかなか言葉にならないのだ。枯れ葉がハラハラ落ちてくれば、わーっと走って行くだけだ。雪が解ければ、踏みあらしていく。

子供がはっと表現をするのは、家や車の窓から見た自然であることが多い。この俳句も車の中での言葉だ。秋。満月には必ず外に出て空を仰ぐ。

うみのそら月がぼっかりうかんでる 愛美 七歳

こちらは姉の句。

冬、北アルプスの麓。安曇平の西山にある我が家からは、目覚めとともに窓から美しい朝焼けが眺められる。日の出前の厳粛な時。一刻一刻「変わる色、雪に被われた大地に繰り広げられるドラマ。

あかいくもあおいくもにかくされた 誠 四歳

一緒に見ている子供の姿である。子供の言葉が、風景に輝きを与え続けてくれる。大人にはつくれない言葉の宝ものを拾うきっかけづくりを与えてくれた、「ものがたり文化の会」のチューター、「俳句十代」に感謝！

俳句十代108、2004年4月号より転載



けいこのプライベートエッセイ

英国旅行記 ~イギリスの食べ物~

イギリスといえば、紅茶。朝は紅茶から始まります。初日の朝は、それにマフィンを用意してもらい、やっぱりイギリスだなあと実感したのです。普段の朝食は、シリアル。でも、イギリスで食べたシリアルは日本のとちょっと違いました。日本に戻って、もう一度あのシリアルが食べたいと思って探しましたが、見つかりませんでした。歯ごたえがあって、おいしかったのです。わたしの友達は、そのシリアルに輪切りのバナナをトッピングして牛乳をかけたものを用意してくれました。

そして、イギリスといえばもうひとつ、フィッシュ・アンド・チップス。タラのフライとフレンチポテト。イギリス人は1週間に1度は、これを食べるそうです。おいしいお店とそうでないお店があるので、地元の人においしいお店を紹介してもらおうのいいなあと思いました。ポテトは主食であるだけに、とてもおいしかった。夜、パブでビールを飲んだけど、パブでお昼を食べることもでき、パブランチといい

ますが、そこで食べたステーキとポテトもおいしかったです。昼間から、ビールとステーキとポテトを食べて、幸せでした。なんて書いたら、私の本性が明らかになってしまいますね。実は、私は、食いしん坊なんです。だから、旅行に行くと太ってしまうんです。

私が行った時期は、クリスマスシーズンだったので、クリスマスならではの物も食べられました。たとえば、クリスマスプディング。そこにかけるブランデーバターがその時期にしか売っていないんだけど、とてもいい香りで気に入りました。

食べ物のお話をしているとつきませんので、そろそろ終わりにします。

池田町・花見(けみ)ほたる祭り 6.26(土)~7.3(土)

森の子だより編集室では、皆様からのご意見、ご要望、寄稿、公告掲載を歓迎します。「子供がこんな面白い絵を描いたんだけど・・・」、「小説でも連載しちゃおうかな」、「こんなお店みつけたよ」などなど何でも結構です。新聞係または森の子までメールにてお送りください。どなたもお気軽にご参加くださいね。お待ちしております。

編集後記

四月から森の子でお世話になるようになって気が付けば2ヶ月。風のように過ぎ去って…。いきなり記事集めの大役をおおせつかってどうなることやらと思いきや、皆様の温かいご協力のもとここまでこぎつけることができました。ありがとうございます。7月に出産をひかえタバタとせわしない日々はまだまだ続きそうです。M

記事を書いてくださったみなさん、どうもありがとうございます。今年もよろしくおねがいしま〜すっ。T

since 2002

MORI NO KO やぎを知ろう！

森の子のお友達に新しく「山羊」が来てくれることになりました。やぎと楽しくおつきあいのために、まずやぎの習性を知ることからはじめましょう。今日からあなたもちよっとした山羊マニアになれますよ！

習性

普段健康な時のやぎ、そうでないときのやぎの行動の違いを感じ取り、やぎが今どうしてほしいかという気持ちを理解するには、つね日ごろからやぎのことをよく観察しておくことが大事です。「ちゃんとえさを食べているか」「糞に異常はないか」「水を飲んでいるか」という3つのポイントを踏まえ、ただやみくもに餌を与えるのではなく、きちんと食べているかどうかを確認しましょう。やぎは上顎の切歯がありません。上顎の歯茎が硬くなっていて(歯床板)、上唇に溝があるので、草をもぐもぐすることができるのだそうです。草を食べるときは上唇と舌を動かしながら歯床板と切歯で草をはさみ、頭を前のほうへ動かしながら食いちぎります。そのためにやぎは、地面に密着した短い草を食べることができるのです。草以外にも、新芽、若葉、灌木、雑草、トゲのあるような植物も食べます。高いところや急な斜面などもものともせず、食べ物があればどんどん登っていきます。アニメ「アルプスの少女ハイジ」でも、やぎが崖っぷちの危うい岩の上に登ってしまっぺターに連れ戻される、なんてシーンがありましたね。やぎ

は水をほとんど飲まないのので、一日中山の上で放牧されていても大丈夫なんですね。

乾いてるのがすき

やぎは乾燥した場所が大好きで、湿気を嫌います。小屋の中はいつも乾燥状態に保つために、床に勾配をつけたり、すのこをひくとよいでしょう。水を嫌うので雨があたらないようにし、水溜りや湿地を作らないようにすることは、腰麻痺（脳脊髄系状虫症）の病原菌を媒介する蚊（ぼうふら）の発生を抑えることにもつながります。

気をつけよう有毒植物

やぎに草以外の飼料を与える場合、おもにとりもろこし、大麦、ふすま、粕類、根菜類などがあります。小屋外で雑草・山野草を食べさせる際には有毒植物に注意してあげなければなりません。やぎは本能的に毒は避けますが、まだ幼かったり、放牧の経験がほとんどないやぎは、間違っって食べてしまう場合があるようです。

山羊にとっての有害植物

ツツジ科 アセビ、ネジキ、レンゲツツジ、

トウダイグサ科 ヒマ（トウゴマ）

ナス科 ジャガイモ、タバコ、チョウセンアサガオ

キョウチクトウ科 キョウチクトウ

ゴマノハグサ科 ジギタリス

セリ科 ドクゼリ、ドクニンジン

ケシ科 ヒナゲシ

マメ科 ハウチマメ

イチイ科 イチイ

ジンチョウゲ科 ジンチョウゲ、ミツマタ

キンボウゲ科 トリカブト、キツネノボタン

ユリ科 イヌサフラン

病気

やぎは元来強い生き物ですが、それでもやはり病気になることもあります。ここでは代表的な腰麻痺と鼓腸症についてのみご紹介します。

・ 腰麻痺（脳脊髄系状虫症）

本来、牛に寄生する指状系状虫が蚊の吸血によって媒介され、山羊の体内に侵入した子虫が脳脊髄に移行して神経組織を刺激したり破壊したりする病気です。そのため、歩行が不安定で起立が困難になり、次第に犬座姿勢をとり、後躯が麻痺したような状態になることから、腰麻痺と呼ばれます。梅雨明け後の蚊が多くなる夏期に多発します。直接死に至ることは少ないですが、採食や飲水が困難になるため、栄養不足になり、抵抗力が落ち、予後は不良となります。ザーネン種や日本ザーネン種などヨーロッパ系品種は本病に罹り易いのですが、韓国在来種や日本在来種は腰麻痺抵抗因子を持っているため、本病に罹りません。予防・治療薬（以下、いずれも商品名で、動物薬販売店で購入できない場合には獣医師を介して購入できます）として、スパトニン、アイボメック、サイポール、アンチリコンなどがあります。

・鼓脹症

マメ科牧草や易発酵性の濃厚飼料を多量に摂取した場合、第1胃内で異常発酵が起こり、ガスが溜まって左側腹部が膨大化します。反芻や?気が困難となり、目が充血し、重度の場合には呼吸困難となって窒息死します。泡沫性の鼓脹は急性で危険なものが多いので、注意が必要です。比較的軽度の場合は消泡剤を経口投与しますが、口腔からガスが抜けず、重篤な場合には、腹部膨大部を套管針で刺してガスを抜き、その後、患部を縫合します。

その他してあげたいこと

・削蹄

小屋で飼う場合には蹄が自然摩滅しにくいので、園芸用剪定鋏や万能鋏で蹄の先端を切り、地面に立ったときに平らになるよう削り、整えます。だいたい春と秋の2回くらいが目安。

お乳について

やぎのお乳は周辺の臭いを吸収する性質が強いため、お乳を搾るときはやぎ小屋と別の場所で行うか搾乳後すぐに舍外に持ち出して臭いが吸着しないようにします。搾ったお乳は二重ガーゼで濾した後、沸騰させないように温めて冷ましたあと、冷蔵し鮮度を保ちます。出産しないとお乳はでないようですが、念のため…。